

様式 2

《「脱臭ナビ」登録申請用紙②》

年 月 日

法人名

1. 対象装置の名称
2. 装置区分
3. 装置の原理及び方法
4. 装置の概略フロー
5. 適用可能な業種・発生源（別紙 3 から適用できる業種を列挙し、最も適した業種 1 つに丸印を付けること）

6. 主な仕様（業種及び想定臭気指数を 3 条件以内で設定し、事業場に標準的な処理風量を選定（設定）して記入すること）			
業種 （想定臭気指数）	（ ）	（ ）	（ ）
処理風量（m ³ /分）			
型式名			
寸法 W×D×H(m)			
重量(kg)（運転時）			
材質			
各種操作条件 （圧力損失等）			
稼働条件			
ユーティリティ	ユーティリティの条件：1日8時間/日×20日/月で算出		
	電源（V）		
	消費電力（kW）		
	電気使用量（kWh/月）		
	ガス使用量（m ³ /月）		
	水道使用量（m ³ /月）		
消耗品（品名）（/年）			
その他			
7. 施工性			
設置場所			
必要スペース W×D×H(m)			
施工期間			
施工方法			
8. 経済性（メーカー提示値）			
イニシャルコスト 価格帯（千円）	～	～	～
最多価格（千円）			
構成ユニット			
価格表示(標準価格又は実勢価格)			
設置工事費（千円）			
設備工事内容			
ランニングコスト（千円/年）			
（内訳額）電気代 水道代 下水道代 消耗品			

9. 脱臭性能

(6に挙げた適用可能な業種・想定臭気指数に近い条件での数値の提示が望ましい)

実測調査を

希望する (※必ず様式3を添付すること。)

実測調査候補	事業所名	業種
NO.1		
NO.2		
NO.3		

希望しない(※必ず様式4を添付すること。)

(第6条第3項の規定により、「実測調査を希望しない」ことを希望した場合であっても部会において実測調査が必要と判定されることがあります。なお、「実測調査を希望しない」が受理された場合は、原則として脱臭性能は評価されません。また、脱臭ナビの検索結果においても、実測調査で脱臭性能を評価された技術よりも下位に表示されることがあります。)

(達成可能な脱臭効率(除去率)あるいは出口臭気指数)

(脱臭性能の持続性)

10. 維持管理性

日常点検管理

定期点検管理

11. 耐久性

12. 安全性

13. 環境への二次影響等

14. 実績（メーカー提示値） 年 月末時点（可能な限り6に挙げた業種ごとに処理風量の範囲を明示して記入）				
業種： 風量： ~ 件数：	業種： 風量： ~ 件数：	業種： 風量： ~ 件数：		
15. セールスポイント				
16. 一般ユーザーからの問い合わせ対応窓口				
17. 備考（標準仕様、その他）				
その他				
標準仕様				
型式	風量	幅（m）	奥行き（m）	高さ（m）

《事務局使用欄》

受付番号	書類審査	ヒアリング	登録審査	登録日	備考